

No.3-(2)

子どもの村 活動プログラム

野外炊飯



所要時間	2～3時間	活動場所	炊飯棟
活動人数	240人程度	所員の説明	無
時期	4～11月		
準備物	軍手、新聞紙、マッチ(ライター)、はし、スプーン、ふきん、(耐熱革手袋)		
貸出物品	ボール、ざる、フライ返し、皮むき、おたま、しゃもじ、さいばし、鉄鍋、鉄板、ずんどう鍋、やかん、包丁、まな板		
概要	自分でご飯を炊いたり、調理をしたりする。		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・注文した薪は、炊飯棟裏に置いておきます。 ・テーブルやいすの道具(プラスチックケース・ベニヤ板)も、炊飯棟裏にあります。幅の広い板が机用、狭い板がいす用です。 		



野外炊飯

活動内容

火のつけ方

(1)新聞紙を3枚ほどよくもみ、丸めて置く。



(2)段差に細いまきを置き、足でふんで折り曲げる。



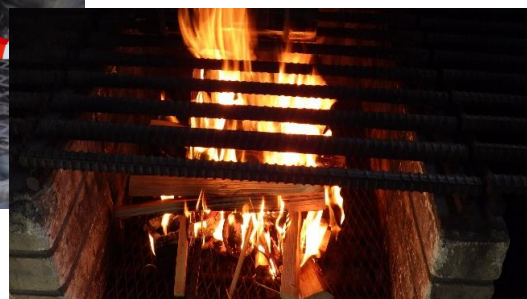
(3)直角に折り曲げる。



(4)折り曲げたまきを積み重ねて、三角の家のような形を作る。



(5)3か所程度火をつけて、炎が上がるまで待つ。



野外炊飯

【炊飯棟の掲示物】

廃プラスチックの捨て方

『カレールウの容器、トレイ、ナイロン袋』

洗う

きれいになったら
適当な袋にまとめて
「廃プラスチック」の
ジャンボペールへ

汚れが取れない場合は
可燃物としてゴミ箱へ

火起こしの手順

- ① 新聞紙を3枚用意する。
- ② 新聞紙をよく揉んでから、丸めて置く。
- ③ 段差に細い薪を置き、足で踏んで折り曲げる。
- ④ 直角に折り曲げる。
- ⑤ 折り曲げた薪を山形に積み重ねる。
- ⑥ これらの上に、中ぐしサイズの薪を置く。
- ⑦ ライターで火をつけ、炎が上がるまで待つ。

上手な火起こしのコツ

- ① 新聞紙に火がついたら、薪に燃え移るまでしばらく待つ。(うちわなどであおくと、空中が黒い灰だらけになります。)
- ② 火が強くなったら、火ばさみで薪を動かしたり、新しい薪をくべたりして、山形をくすさないようにする。

さあ、やってみよう!

活動内容

	液体洗剤	クレンザー	スポンジ	スチールたわし	かめのこたわし	サンドシート
炊飯セット	○	○	○	○	○	○
鉄板	○	○	○	○	○	○
鉄鍋	○	×	○	×	○	×
寸胴鍋	○	○	○	○	○	○
食器	○	○	○	×	○	×
まな板	○	○	○	×	○	×
包丁	○	○	○	○	○	○